

# 東北地方 1か月予報

(8月31日から9月30日までの天候見通し)

平成14年8月30日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

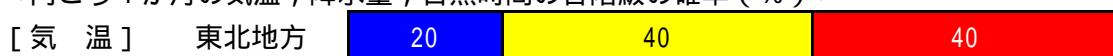
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目、3~4週目は共に平年並の見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 8月31日(土) ~ 9月30日(月)

1週目 : 8月31日(土) ~ 9月6日(金)

2週目 : 9月7日(土) ~ 9月13日(金)

3~4週目 : 9月14日(土) ~ 9月27日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日14時30分 次回は9月6日

3か月予報: 9月24日(火)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

|     | 気温(℃) | 降水量(mm) | 日照時間(時間) | 気温(℃) |      |       |
|-----|-------|---------|----------|-------|------|-------|
|     |       |         |          | 1週目   | 2週目  | 3~4週目 |
| 大船渡 | 19.4  | 234.7   | 125.3    | 21.4  | 20.2 | 18.4  |
| 新庄  | 19.2  | 162.5   | 119.2    | 21.7  | 20.2 | 18.0  |
| 若松  | 20.1  | 139.1   | 132.8    | 22.8  | 21.1 | 18.8  |
| 深浦  | 19.2  | 181.4   | 161.6    | 21.3  | 20.0 | 18.2  |
| 青森  | 18.9  | 127.1   | 166.5    | 21.2  | 19.9 | 17.9  |
| むつ  | 18.0  | 181.5   | 149.2    | 20.0  | 18.9 | 17.1  |
| 八戸  | 18.7  | 174.5   | 149.0    | 20.7  | 19.5 | 17.8  |
| 秋田  | 20.0  | 186.7   | 162.5    | 22.4  | 20.9 | 18.9  |
| 盛岡  | 18.4  | 169.3   | 129.8    | 20.9  | 19.4 | 17.3  |
| 宮古  | 18.6  | 238.8   | 128.9    | 20.6  | 19.4 | 17.8  |
| 酒田  | 20.6  | 194.4   | 157.0    | 22.9  | 21.5 | 19.6  |
| 山形  | 19.8  | 144.2   | 133.4    | 22.5  | 20.9 | 18.7  |
| 仙台  | 20.4  | 225.1   | 125.0    | 22.5  | 21.2 | 19.5  |
| 石巻  | 20.0  | 171.3   | 138.9    | 22.1  | 20.8 | 19.0  |
| 福島  | 20.9  | 176.3   | 119.5    | 23.4  | 21.8 | 19.7  |
| 白河  | 19.2  | 230.2   | 117.3    | 21.6  | 20.2 | 18.1  |
| 小名浜 | 21.3  | 211.9   | 143.1    | 23.2  | 22.2 | 20.4  |

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 気温平年差(℃)  | 降水量平年比(%) | 日照時間平年比(%) |
|--------|-----------|-----------|------------|
| 東北地方   | -0.5~+0.3 | 85~113    | 95~108     |
| 東北日本海側 | -0.6~+0.4 | 86~111    | 96~108     |
| 東北太平洋側 | -0.5~+0.3 | 85~114    | 92~110     |

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

|        | 1週目       | 2週目       | 3~4週目     |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 東北地方   | -0.8~+0.7 | -0.7~+0.6 | -0.5~+0.3 |
| 東北日本海側 | -0.8~+0.8 | -0.8~+0.6 | -0.5~+0.2 |
| 東北太平洋側 | -0.7~+0.8 | -0.6~+0.5 | -0.5~+0.3 |

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成14年8月30日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(8月31日~9月30日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(8月31日~9月6日) :

期間の中頃、気圧の谷の影響で天気のくずれる所がありますが、その他の日は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(9月7日~9月13日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(9月14日~9月27日) :

天気はおおむね周期的に変化するでしょう。秋雨前線の影響を受け、天気がぐずつく時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

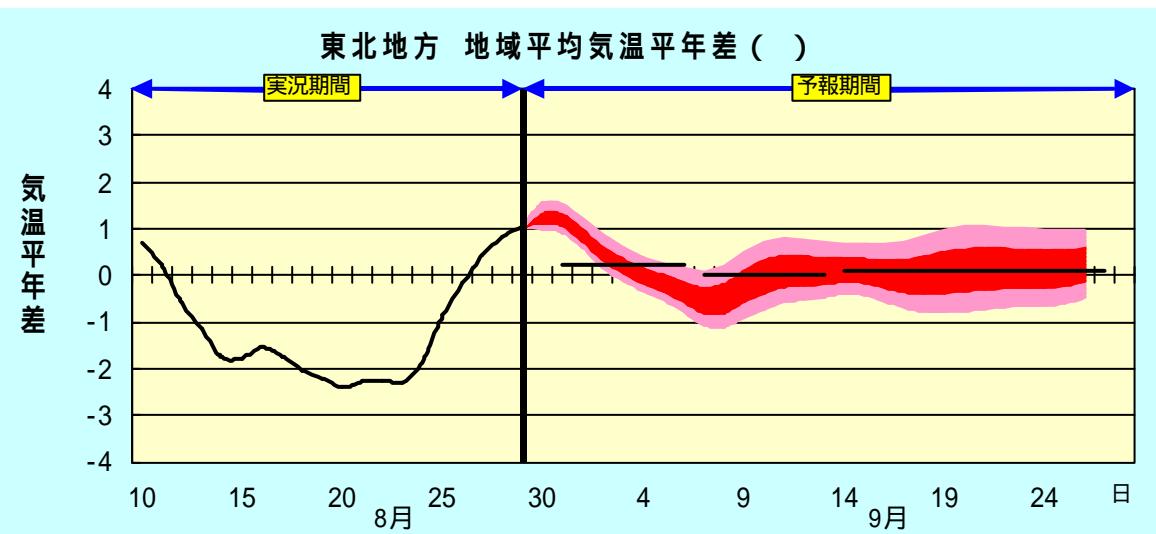
|        | 向こう28日間 | 1週目  | 2週目  | 3~4週目 |
|--------|---------|------|------|-------|
| 東北日本海側 | 13.4日   | 3.7日 | 3.1日 | 6.6日  |
| 東北太平洋側 | 12.2日   | 3.3日 | 2.6日 | 6.3日  |

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

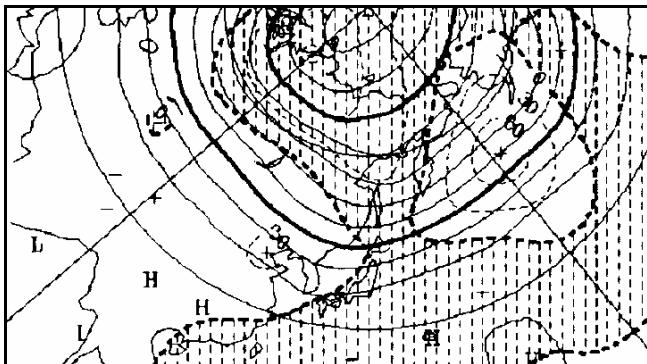
数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」を予測している。

予報は、週間予報資料などから1週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

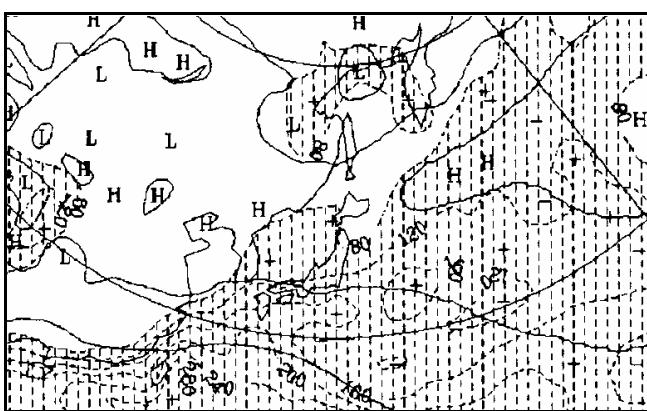


月平均の500hPa高度・偏差  
等高度線：60m毎、偏差：30m毎、陰影部：負偏差

#### 500hPa高度・偏差

月平均で見ると、日本の南と高緯度に負偏差域が広がり、日本付近も負偏差だが、偏差は小さい。偏西風は東西流が卓越するため、天気は周期的に変わると考えられる。

週別（図略）では、1週目は日本付近の高度場は正偏差で、沿海州付近の気圧の谷が明瞭。2週目以降は、日本付近は負偏差に転じ、月平均の分布に近くなる。



月平均の地上気圧と降水量  
等圧線：4hPa毎、降水量：40mm毎、陰影部：80mm以上

#### 地上気圧と降水量

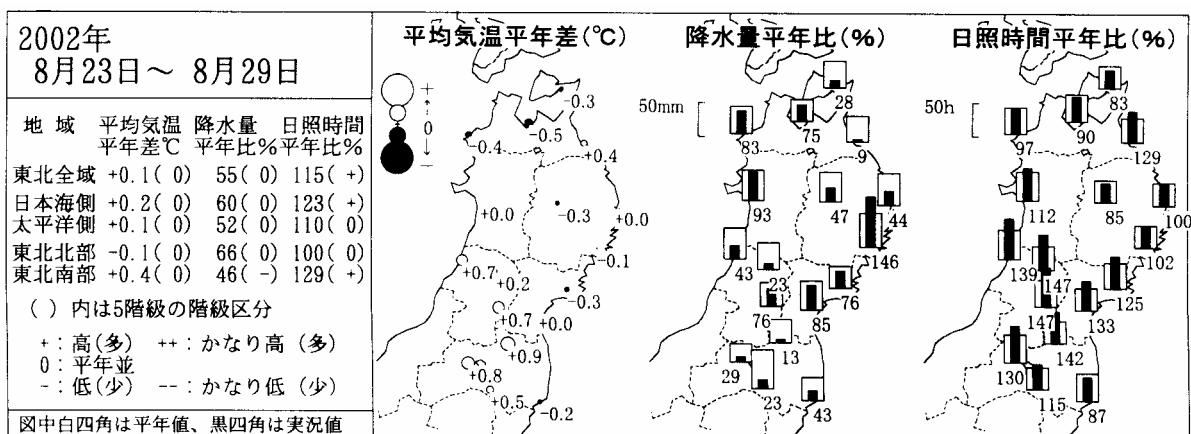
月平均で見ると、日付変更線から北海道の東に高気圧が張り出し、日本の南海上は低圧部となっている。台風や熱帯低気圧、秋雨前線に対応する降水域が、南海上から本州南岸に予想される。

週別（図略）では、1週目は日本の東から張り出す高気圧に北日本は覆われる。2週目以降、日本付近の等圧線は次第にまばらとなり、天気は周期的に変わると予想される。

### 4. 最近1週間（8月23日～8月29日）の天候の経過

天気は周期的に変わり、24日と29日は低気圧や前線の影響で東北北部を中心に雨となったが、その他の日は高気圧に覆われあおむね晴れた。また、8月中旬以降の低温状態は24日頃解消し、27日以降は東北南部を中心に厳しい残暑となった。

平均気温は、東北地方で平年差+0.1と平年並だった。降水量は、東北北部で平年比66%と平年並、東北南部で平年比46%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比100%と平年並、東北南部で平年比129%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）